



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3374 URL http://www.naigaitec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 米澤 秀記 TEL 03 (5433) 1123  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,178	7.9	131	658.5	92	—	79	—
26年3月期第3四半期	11,289	30.0	17	—	△18	—	△29	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 109百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.44	—
26年3月期第3四半期	△6.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,368	1,400	12.3
26年3月期	10,251	1,305	12.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,400百万円 26年3月期 1,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,134	0.5	267	△7.2	247	4.8	223	△10.6	45.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー 社 （社名） 、除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	5,072,000株	26年3月期	5,072,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	207,875株	26年3月期	207,795株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	4,864,181株	26年3月期3Q	4,864,384株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税の反動や欧州・新興国経済の鈍化による輸出の伸び悩みがあったものの、政府の経済対策等の効果により緩やかながら回復基調にあるものと思われま

す。当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましては、引き続き半導体メーカーによるスマートフォンやタブレットなどの多機能携帯端末用半導体の増産投資に加え、チップの微細化等の高性能化に向けた設備投資が積極的に行われたことから、半導体製造装置メーカーの受注も堅調に推移いたしました。

また、FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置業界におきましても、大手FPDメーカーによる高精細な中小型パネルの増産に向けた設備投資のほか、中国での大型液晶パネル向け設備投資が継続されたことからFPD製造装置メーカーの受注も堅調に推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループは、グローバル化への対応や製品コストの競争力強化のほか、高い品質力や技術力の向上を目指し、総合的ソリューションの確立をはじめ、新規市場の開拓、既存顧客への取引強化、並びに新商品の開発を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の受注は、第2四半期に一部の海外半導体メーカーでの設備投資の先送り等による影響から、取引先からの受注が一時的に弱含みになったものの、第3四半期からの回復により、売上高は、121億78百万円(前年同期比7.9%増)となりました。損益面では、営業強化に伴う販売費及び一般管理費の増加や有利子負債の増加があったものの、第3四半期には原価改善が進んだこと、また、売上高の増加による利益の増加により、営業利益1億31百万円(前年同期は営業利益17百万円)、経常利益92百万円(前年同期は経常損失18百万円)、四半期純利益79百万円(前年同期は四半期純損失29百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①販売事業

半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ(部品)及び同装置等の販売事業におきましては、第2四半期に一部の海外半導体メーカーでの設備投資の先送り等による影響から、取引先からの受注が一時的に弱含みになったものの、第3四半期からの回復により、売上高は、113億23百万円(前年同期比7.1%増)となりました。損益面では、営業強化に伴う販売費及び一般管理費の増加があったものの、第3四半期には原価改善が進んだこと、また、売上高の増加による利益の増加により、セグメント利益67百万円(前年同期はセグメント利益21百万円)となりました。

#### ②受託製造事業

半導体・FPD製造装置などの組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、第2四半期に一部の海外半導体メーカーでの設備投資の先送り等による影響から、取引先からの受注が一時的に弱含みになったものの、第3四半期からの回復により、売上高は、14億58百万円(前年同期比16.9%増)となりました。損益面では、原価改善が進まなかったことにより、セグメント利益42百万円(前年同期はセグメント損失25百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億17百万円増加し、113億68百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が13億10百万円、商品及び製品が1億41百万円及び電子記録債権が78百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億44百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億22百万円増加し、99億68百万円となりました。この主な要因は、新規調達による社債及び長期借入金(1年以内を含む)の純増額5億47百万円及び電子記録債務が5億5百万円増加し、支払手形及び買掛金が86百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ95百万円増加し、14億円となりました。この主な要因は、利益剰余金が65百万円及びその他の包括利益累計額が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の12.7%から12.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました予想と変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,027,420	4,337,891
受取手形及び売掛金	4,188,718	3,744,319
電子記録債権	240,115	318,514
商品及び製品	477,274	618,510
仕掛品	30,160	30,246
原材料及び貯蔵品	30,595	39,903
繰延税金資産	58,814	56,922
その他	29,435	31,605
貸倒引当金	△4,339	△5,144
流動資産合計	8,078,194	9,172,768
固定資産		
有形固定資産		
土地	926,610	888,825
その他(純額)	336,263	340,924
有形固定資産合計	1,262,873	1,229,749
無形固定資産	24,295	21,709
投資その他の資産		
その他	886,101	944,605
貸倒引当金	△65	—
投資その他の資産合計	886,035	944,605
固定資産合計	2,173,203	2,196,065
資産合計	10,251,398	11,368,833
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,666,175	2,579,714
電子記録債務	1,867,167	2,372,923
1年内返済予定の長期借入金	881,933	947,380
未払法人税等	32,372	2,078
賞与引当金	55,000	31,500
その他	379,252	507,782
流動負債合計	5,881,899	6,441,378
固定負債		
社債	550,000	680,000
長期借入金	1,793,079	2,084,975
繰延税金負債	13,234	28,119
退職給付に係る負債	584,674	605,867
長期未払金	90,008	90,008
資産除去債務	12,344	12,493
その他	21,016	25,631
固定負債合計	3,064,358	3,527,096
負債合計	8,946,258	9,968,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	544,451	609,805
自己株式	△28,592	△28,610
株主資本合計	1,227,865	1,293,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,825	89,341
為替換算調整勘定	18,448	17,815
その他の包括利益累計額合計	77,274	107,157
純資産合計	1,305,139	1,400,358
負債純資産合計	10,251,398	11,368,833

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	11,289,339	12,178,064
売上原価	10,291,009	10,941,356
売上総利益	998,329	1,236,707
販売費及び一般管理費	980,943	1,104,837
営業利益	17,386	131,870
営業外収益		
受取利息	2,899	2,752
受取配当金	2,202	3,541
受取賃貸料	9,260	7,864
仕入割引	5,190	6,273
助成金収入	1,643	450
その他	7,053	5,474
営業外収益合計	28,249	26,355
営業外費用		
支払利息	59,427	55,007
その他	4,553	11,083
営業外費用合計	63,980	66,091
経常利益又は経常損失(△)	△18,344	92,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,344	92,134
法人税等	11,531	12,187
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,876	79,946
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,876	79,946



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△29,876	79,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,015	30,516
為替換算調整勘定	5,280	△633
その他の包括利益合計	29,296	29,883
四半期包括利益	△580	109,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△580	109,829
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,481,623	807,715	11,289,339	—	11,289,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,749	440,483	528,232	△528,232	—
計	10,569,373	1,248,198	11,817,571	△528,232	11,289,339
セグメント利益又は損失(△)	21,079	△25,423	△4,343	21,729	17,386

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額21,729千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,263,630	914,433	12,178,064	—	12,178,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,222	544,228	604,451	△604,451	—
計	11,323,852	1,458,662	12,782,515	△604,451	12,178,064
セグメント利益	67,643	42,691	110,335	21,535	131,870

(注) 1. セグメント利益の調整額21,535千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。